(資料編)

図1 表紙と目次



図2 目次作成画面

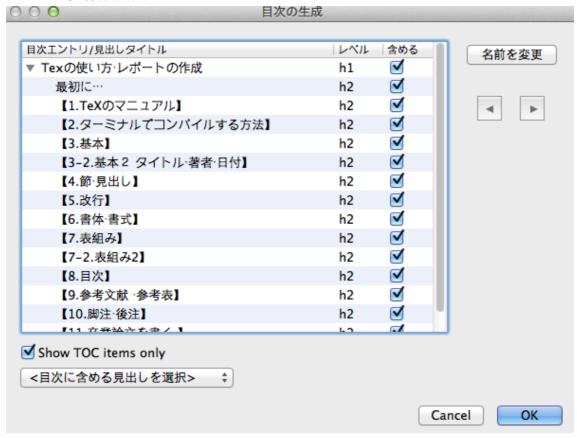
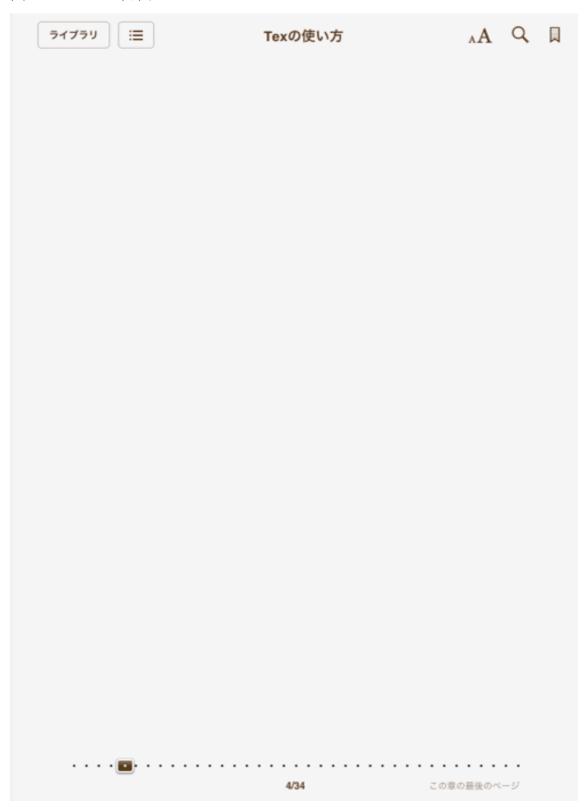


図3 ページが白紙



【4.節・見出し】

LaTeXは、文章の見 え方を気にすること なく書けます。

文章は下のように分 けられます。

1. \section{}…セク

ション (節) の 見出し

- 2. \sudsection{}…
 サブセクション
 (小節)の見出
- \subsubsection{}
 …サブ・サブセ
 クション(少々
 節)見出し
- 4. \paragraph{}…パ ラグラフ(段 落)の見出し
- 5. \subparagraph{}

図5 文字のサイズが大きい時

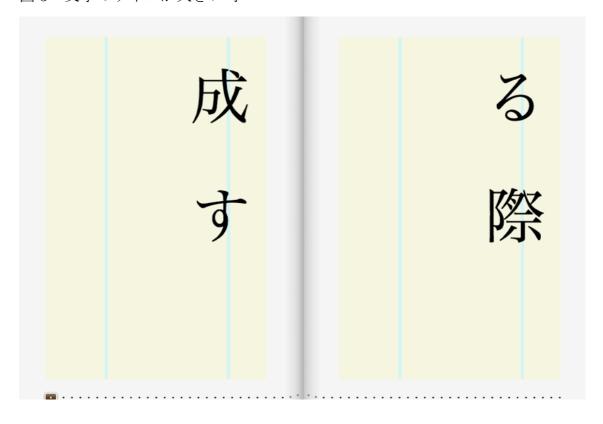


図 6 注意項目

注:

- できるだけ横向きで見みてください。
- ・iBookで文字のサイズが変更できるので、できるだけ一番小さなサイズで見てください。
- ・画像が見にくい部分がでてくると思うが、二回クリックしてもらえば大きくなります。

図7 タイトルと注意書きの説明ページ

Texの使い方・レポートの作成

最初に・・・

注:

- できるだけ横向きで見みてください。
- ・iBookで文字のサイズが変更できるので、できるだけ一番小さなサイズで 見てください。
- ・画像が見にくい部分がでてくると思うが、二回クリックしてもらえば大きくなります。

作成する際に、二つダウンロードしもらいたいものがある。

まず、福田先生のサイトでEasyLayout.styのファイルをダウンロードして保存してください。

.texのファイルが入っているファイルに入れます。

このファイルの中にもjumolineははいていますのでここからファ イルに入れてもらって結構です。

もし、上のサイトでダウンロードしたファイルにない場合は次に 記入してあるURLでダウンロードしてください。

次にhttp://www.para.media.kyoto-u.ac.jp/latex/にアクセス

【2.ターミナルでコンパイルする方法】

- 1. \$ cd 自分のフォルダ名 (自分のフォルダに移動)
- 2. \$ platex ファイル名.tex (コンパイル)
- 3. \$ platex ファイル名.tex (コンパイル[二回目])
- 4. \$ ファイル名.dvi (dviに変換)
- 5. \$ open ファイル名.pdf (pdfで開く)
- 以上は一連の作業です。

コンパイルは必ず二回するようにする!! また、一度作業をすれば、pdfファイルを閉じて 2から5をしないと更新されません。

正しく表示されない場合は、texファイルを見直しましょう。 それでは、ファイルを作って1~5までやってみましょう。

【3.基本】

```
TeXでは、原稿は自分の使い慣れたソフト
大学のレポートをワープロの代わりにTeXを使って書けるよう
基本的な機能を使ってレイアウトをします。
まず、ファイルを作成します。
「Jedit X」を開いて、名前を付けて保存を選択します。
拡張子を「.tex」として保存します。
\documentclass{jsarticle} で始まります。
(レポート・論文を書くときはjisarticleを使います。)
※報告書: jreport、本: jbookやjsbookなど使います。
\documentclass{jsarticle}から\begin{document}までの間は「ブ
レアンブル」と言います。
ここは本文に属さない各種競ってを書くところです。
本文を\begin(document)から\end(document)の間に書きます。
言語の最初すべてに \ (バックスラッシュ → option+¥)
がつくので覚えましょ!!
<例>
次のようにtexファイル中で入力します。
 / \documentclass(jsarticle)
 2 \begin{document}
```

```
2 \begin[document]
3 Cれはサンプル文章です。
5 テキストファイル中では、
6 どこで改行してもかまいません。
7 改行の位置は勝手に決めてくれます。
9 段落の切れ目には空の行を入れておきます。
10 \end[document]
```

【3-2.基本 2 タイトル・著者・日付】

まず、本文を書くには\begin[document]から\end[document]の 間に書きます。

本文の最初には\maketitleをこのように書きます。

\begin{document}

\maketitle

ああああああああああああああ

\end{document}

そして、タイトル・著者・日付を作るには.texのファイルに次の ように書きます。

\title{タイトル} \author{著者や名前など} \date{日付、2012/6/14}

次のように表示されます。

【4.節・見出し】

LaTeXは、文章の見え方を気にすることなく書けます。

文章は下のように分けられます。

- 1. \section[]…セクション (節) の見出し
- 2. \sudsection{}···サブセクション (小節) の見出し
- 3. \subsubsection()…サブ・サブセクション (少々節) 見出し
- 4. \paragraph{}···パラグラフ (段落) の見出し
- 5. \subparagraph()…サブパラグラフ (小段落) の見出し

{}の中にそれぞれの節の見出しを書く。

(レポートや論文程度では、ほとんどがセクションとサブセクションまでで十分です。)

<例>

次のようにファイルに書いてみます。

【5.改行】

ワードやパワーポイントでは普通に改行していけば改行される が、

TeXでは、空の行(Enterだけの行)があるだけとTeXはそこを 段落の区切りと解釈します。

つまり、Enterキーを1度だけ打ってもTeXはそれを無視しますが

2度続けてEnterを打てば、空行ができるので、そこで段落が改まり、改行されます。

(*間にEnterを何度も入手しても空白は出来ません。改行する だけ)

<例>

次のように打ちます。

改行は 無視します。

このように表示されます。

改行は無視します。

【6.書体・書式】

通常の文字の大きさは、自動的に適切な大きさに設定される。見 出しなどもそれなりに大きさが設定されているので、普通は気に する必要はないです。

本文中の文字のサイズを小さくしたい時は、

\tiny、\scriptsize、\footnotesize、\smallを使用します。

大きくしたいときは、

\large、\Large、\LARGE、\huge を使い、

使い方は、{\large 大きくしたい部分}というように変更したい部分全体を{}で囲い、その最初に文字サイズを指定して半角空けてから変更したい文章を記述する。

```
{\large abcde} → abcde
{\Large abcde} → abcde
{\LARGE abcde} → abcde
{\huge abcde} → abcde
{\tiny abcde} → abcde
{\scriptsize abcde} → abcde
{\footnotesize abcde} → abcde
{\small abcde} → abcde
```

【書体の変更】

【7.表組み】

まずは、\begin(tabular)を使って罫線のない表を作ります。

そして、列指定をします。列指定は列の数だけ並べます。

まずは、\begin{tabular}を使って罫線のない表を作ります。 そして、列指定をします。列指定は列の数だけ並べます。 lは左寄せ、cは中央、rは右寄せ

もし、{lrr}と列指定をした場合1列目が左寄せで、2、3列目は 右寄せになります。

行の区切りには\\

\begin{tabular}{列指定}とこのように入力します。

次のように入力します。

\begin{center}

\end{tabular}

\end{center}

このように罫線のない表が表示します。

品名 単価 (円) 個数 りんご 100 5 みかん 50 10

【罫線のある表】

罫線をいれるのは\hlineという命令で引くことができます。

【7-2.表組み2】

【列割りの一時変更】

一時的にいくつかの列をまとめて1列のように扱う命令は \multicolumn{まとめる列数}(列指定){中身}です。

次のように打ち込みます。

\begin(center)

\begin\tabular\{lcr}

\multicolumn{3}{c}{\textgt(請求書)} \\

\multicolumn{1}{c}{品名} & 数量 & \multicolumn{1}{c}{金額} \\

\end{tabular}

\end{center}

ここで\multicolumn[3]{c}{\textgt{請求書}}は3列分をまとめて中央揃え、ゴシック体で「請求書」と出力します。

\multicolumn[1][c][品名]は単に「品名」を中央揃えに直すだけです。

この次のように出力されます。

請求書

品名: 数量 金額
The TEXbook 1 \$30.00
TEX: The program 1 \$43.00

次にこの表に罫線を引いてみます。

【8.目次】

セクションやサブセクションなど見出しで書いた文章を簡単に目 次で出せる。

まず、\tableofcontentsと書きます。

(\maketitleがある場合はその下に書くのが良いです。)

次のように書きます。

\maketitle

\tableofcontents

\section(見出し)

次のように表示されます。

(レポートを書くときは、目次は見出しの次にくるのが望ましい。)

【問題7】

【9.参考文献 ・参考表】

【参考文献】

文章の一番最後に表示します。

参考文献の一覧を作成するには thebibliography を使用します。 一般に、参考文献は本文の最後に記述します。

thebibliographyの基本形

\begin{thebibliography}{数字}

\bibitem(キー1) 参考文献の名前・著者1 \bibitem(キー2) 参考文献の名前・著者2

•

\end{thebibliography}

数字には参考文献の数が9件以下であれば9で、99件以下であれば99のように書きます。

キーは参考文献を本文中から参照する際のキーワードです。キー の名前は重複しないようにつける必要があります。

そして、参考文献の数字を入れるには入れたい部分の後ろに\cite(名前)を入れ、

参考文献なる文章の前に\bibitem[名前]を入れます。 次のように入力します。

【10.脚注・後注】

【脚注】

まず、\authorと\beginの間に\脚注をいれます。

\title{タイトル\\長いときはで区切る}

\date{1993年07月20日}

\author{名前:富田}

脚注

\begin(document)

\maketitle

そして、注を入れたい場所に\footnote(注の内容)を書きます。

洛南高等学校および洛南高等学校附属中学校viscotnote(京都府京都市南区壬生通八条下ル来寺町559番地)は、京都市南区壬生通八条下ル来寺町に所在し、

中高一貫教育を提供する私立高等学校・中学校。

設置者は真言宗各派が参画する学校法人真言宗洛南学園であり、学校は教王護国寺(東寺)の境内にある。 第一校長、木村澄覚sbotnote(生没年は1930~1980)になる。

次のように文章の最後に数字が出て、

路南高等学校および路南高等学校附属中学校"は、京都市南区壬生通八条下ル東寺町に居在し、中高 一貫教育を提供する私立高等学校・中学校。設置者は真言宗各派が参画する学校法人真言宗路商学課で あり、学校は教王護国寺(東寺)の境内にある。第一校長、木村澄堂でになる。

そして、書いたページの最後に表示します。

【後注】

^{*1} 京都府京都市南区壬生通八条下ル東寺町 559 番地

^{*2 1930~1980}

【11.卒業論文を書く 】

- まず、福田先生のゼミのサイトにアクセスします。 (http://tibet.que.ne.jp/otani/wiki/index.php?EasyLayout)
- メニュー欄の「卒論の概要」の「卒論の設定」にアクセスします。
- このページの最初の行の\documentclass[12pt]{jsarticle}から 最後の行の\end{document)までをコピーします。
- 「Jedit X」にペーストします。ペーストしたら¥が\に変わっているか確認してください。
- 5. 例文が入っているところは、自分で変えてください。

図20 横にした時の表示

【1.TeXのマニュアル】

TeXは、D・クヌースという数学者・ 情報科学者の台所が作った組版ソフト である。TeXは「テック」または 「テフ」と読みます。

TeXの作者クヌース先生によれば、 TeXはギリシャ語から命名したのも で、最後のXは、口の奥で発音する無 声の「ハ」に近い音だそうです。 またドイツ語では「テッヒ」という発 音が多いようです。

日本では、特に大学関係者の間では、 昔から「テフ」と呼びならわされてい ますが、英語圏でTeXを覚えた人や出 版関係者の間では「テック」という発 音も広く行われています。 特に、日本語のPTeXを開発した(株)アスキーではPTeXを「ピーテック」と呼んでいます。 数学者などの学術書を活字によって組版し、コンピューター上のソフトで再現しようとして作られました。

TeXはレイアウトして、その結果のファイルを書き出すだけなので、それを 視覚的にみるためには別のソフトが必 東です

TeXには組み込んだマクロによってい くつかの種類があります。

特によく使われているのは

- LATeX
- · plain TeX
- GNU Texinfo
- ・Con TeXt です。

図 21 画像の文字が縮小 1

に\footnote{注の内容}を書きます。

消耗高等学校および清晰高等学校和属中学校econoto(京都府京都市青区壬生進八条下ル乗寺町559章喰)は、京都市南区壬生進八条下ル乗寺町に居在し、

中央一貫教育を提供する私立高等学校・中学校。

設置者は真言宗為近が参画する学校注人真言宗浩帝学案であり、学者は教王護国寺(集寺)の前内にある。 第一校長、木村重節8b01rcle(生没年は1930~1980)になる。

次のように文章の最後に数字が出て、

協総高等学性および得得高等学校形装中学校**は、京都市部区工生造へ来了の前寺町に所在し、中森 一貫教育を提供する私立高等学校・中学校、設置者は真治宗各部が参議する学校拡入真治宗各市学業で あり、学校は教工選接で(長寺)の衛与にある。第一校長、木村改定**になる。

図 22 画像の文字が縮小 1

久のように[*IUPI]を入力します。

\begin{center}

りんご & 100 & 5 \\[-10pt]

みかん & 50 & 10 \\ \hline

\end{tabular} \end{center}

このようにりんごとみかんの間が狭くなります。

品名	単価 (円)	個数
みかだ	198	18